



【深高祭を終えて】

文化祭が終わって1か月がたちました。みなさんの手で創り上げた様々なパフォーマンスは本当に素晴らしかったです。深高生の“パワー”を感じた時間でした。今年は新しい試みとして、有志の発表もありました。プロジェクションマッピング、映画や自作の演劇に挑戦したりと文化祭が一段と盛り上がりました。1年1年成長している深高祭。来年はどんな企画が出てくるのか楽しみです。



【主体的・対話的で深い学び — 深沢高校は授業を大切にしています！】

今、この言葉があちこちで聞かれます。どうしてだと思いませんか？
あと数年後には皆さんは社会の一員として自分の人生を自分の責任で創り出していかなければなりません。「社会に出たらどうにかなる」などと考えている人はいませんか？

先日、桐蔭学園理事長の溝上慎一先生においでいただき、職員研修会を開きました。先生からのご指摘は厳しいものでした。

「高校の授業の中で、他者の発言をきちんと傾聴できない人、自分の意見をまとめて人に伝えられない人は社会に出てからもそのままである。」ということです。

一般社会を思い出してください。AI や IoT が進むこれからの社会において、今までのデータで対応できる仕事（コンビニのレジ、銀行の窓口等）はこれから減少していくと言われています。残っていく仕事は、他者とのやり取りを必要とするものばかりです。

では、どうすればよいのでしょうか。それは、**毎日の授業を大切に**して**授業の中でそのために必要な力を身につけていけばよいのです。**そのために、深沢高校では授業を大切にします。

今学んでいることが社会でどのようにかかわってくるかということをそれぞれの授業では指導していきます。**他者の意見をしっかり聴き、積極的に自分の意見を伝えるトレーニングをしてください。**

当然、知識を定着させることも必要です。

「学力の定着にはテストの振り返りが大切である！」

授業での説明はわかったつもりでいても、いざやろうと思うとできないということはよくあることです。それを補う方法を2つあげます。

- ① テストで間違えたところを振り返り、「どうして間違えたか」を考えて、次に生かすようなメモを残し、時々ちらっと見返す。
- ② テスト前に、自分が他の人に教えるつもりで、先生の言った言葉を思い出しながら試験範囲の内容を説明してみる。

さあ、これからの社会で活躍するために、今、自分自身の力をつけていきましょう！

【いろいろ工夫された授業が展開されています】

